

第2次農業振興計画【中間見直し】事業一覧

資料1

施策(大分類)	主要事業(中分類)	個別事業(小分類)	事業内容	令和元(2019)年度の取組	令和2(2020)年度の取組	
(1)食と暮らしを支える多様な農業	1 直売所のさらなる活用	(統合) 直売所の利用の促進	市HPの活用等による情報発信強化	①直売所用のぼり旗配布 ②いこいの森公園、JA直売所、りさいくろの直売支援実施 ③市HPにて、農業者の直売所情報提供(毎年情報更新)	①のぼり旗の配布 ②いこいの森公園、JA直売所、りさいくろの直売支援実施	
		(新) 公共施設等での販売機会の提供	公共施設での販売機会の提供→市民の利便性や地産地消	①こもれびホール前で直売実施 ②駅前(保谷・田無・ひばりが丘)でめぐみちゃんマルシェ実施 ③市所有の緑地で直売実施	こもれびホールや市施設、ひばりが丘駅前駅前広場、多摩六都科学館での直売支援実施販売機会を提供	
		めぐみちゃんメニューの推進	地産地消の推進、販路の拡大を目指す。	①メニューコンテストイベント開催、市民まつりで広報。 ②市の事業と連携したマルシェ開催。 ③参加事業者の増加 ④ツイッターによる広報。	①新しいイベントの実施 ②市の取り組みと連携したマルシェを開催 ③農業者と商工業者とのマッチング	
		学校給食との連携	栄養士との意見交換会を開催する。	①学校栄養士と農業者の連絡会への支援。 ②市内共通メニューの実施	①学校栄養士と農業者の連絡会 ②市内共通メニューの実施 ③JAとの協議	
		めぐみちゃんブランドの普及啓発	メニュー事業や補助金を活用し普及啓発を行う。	①めぐみちゃんメニュー事業による普及を図る。 ②「市産農産物等活用推進補助金」の商工業者への周知。農業者には、直売所看板等への使用実績を広報し、様々な活用を促した。 ③直売所にめぐみちゃんもののぼり旗を配布。	①めぐみちゃんメニュー事業を通じたブランド化 ②「市産農産物活用補助金」の活用を広報・周知 ③のぼり旗を配布継続。	
		3 販路の拡大と西東京ブランドの育成	地域や商店街との連携	地域や商店街でのイベント等の活用	①いこいの森公園やリサイクル市での農業者の直売活動を支援(ファームカー等)。 ②多摩六都などイベントにおける直売への支援(ファームカー)。 ③ひばりが丘駅南口駅前広場を活用した即売会の協力。 ④畑の防災訓練で地域の自治会と連携。 ⑤景観散策会に地元商店街から講師派遣などの連携。 ⑥高齢者センターざららと連携した「テークアウト」の実施	①いこいの森公園やリサイクル市での農業者の直売活動を支援(ファームカー等)。 ②多摩六都などイベントにおける直売への支援(ファームカー)。 ③ひばりが丘駅南口駅前広場を活用した即売会の協力。 ④畑の防災訓練で地域の自治会と連携。 ⑤景観散策会に地元商店街から講師派遣などの連携。 ⑥高齢者センターざららと連携した「テークアウト」の実施。
	1 若い担い手や女性農業者の育成	地元と連携した後継者育成	F&Uの実施、認定農業者を講師とした研修の実施	①東京都フレッシュ&Uターミネーターや指導農業者制度を活用した後継者育成の支援。 ②認定農業者の経営改善計画において、後継者も含めた農業経営の計画策定を推進。 ③「農業後継者顕彰」事業。	①東京都フレッシュ&Uターミネーターや指導農業者制度を活用した後継者育成の支援。 ②認定農業者の経営改善計画において、後継者も含めた農業経営の計画策定を推進。 ③「農業後継者顕彰」事業。	
		(統合) 農業者の交流機会の創出	若い担い手や女性農業者への情報提供の強化、支援策の検討	①F&U事業実施 ②情報交換 ③委員会活動 ④経営改善計画への助言	①青壮年部等と意見交換や要望の聞き取り ②女性農業者の活動実態、要望把握 ③女性や若い担い手への情報提供、活動支援	
		農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供	「青空塾」修了者と農業者のマッチングを行う。	①体験実習農園にて援農ボランティア活動実施。 ②都「広域援農ボランティア」の周知・広報。 ③都農作業サポーター支援事業との連携(募集協力等)	①マッチングの仕組みづくり検討 ②市報での援農ボランティア広報	
		援農ボランティアのスキルアップ	「青空塾」修了者のスキルアップを図る。	①スキルアップ講習会を、市内農業者の協力を得て、農のア카데미にて実施。 ②スキルアップを目的に講演会や運営連絡会を実施。	①市内農業者の園場にてスキルアップ講座を実施	
		(新) 認定農業者農業経営改善計画への支援	経営改善計画のフォローアップを行う。	—	①認定農業者の要望や関係団体との調整により、目標達成に向け、支援を行う。	
		3 効果的な支援による農業経営意欲の促進	新たな支援策の調査・研究	調査・研究	①補助内容についてJAと意見交換 ②新たな補助制度(「都市農地保全プロジェクト」)の作成 ③計画見直しにおいて、直売への支援策や公共施設での直売検討 ④台風被害への対応	①JAや農業者との意見交換、要望の反映 ②プロジェクト補助金事業手続きを開始
	1 生産緑地の保全	営農支援事業の適正運営	適正な運営を実施します。	「営農支援事業」をJAが実施している。	引き続き実施	
		農地の適正な肥培管理	農業委員会による管理	①農業委員会と市が協力して、農地パトロールを実施する。 ②農業者への年間を通じたご指導。	①農業委員による指導 ②農地パトロールの実施 ③生産緑地制度の理解促進を通じた意識の向上	
		生産緑地地区制度への対応	特定生産緑地や生産緑地の再指定等の推進	①農業者の意見を集約し、「意見」を市に提出する。 ②生産緑地の再指定について、基準改正。 ③都市計画審議会に農業委員会会長が参加。	①特定生産緑地の周知、関係団体、関係部署との連携 ②農業委員による肥培管理調査	
		(新) 農地の賃借における仲介の仕組みづくりの支援	貸借円滑化法に基づく賃借への対応を行う	①制度についての情報提供 ②関係機関との調整	①情報の整理、JAや農業会議等関係機関との連携体制の構築、意見交換 ②農業者の要望、情報の集約	
		(統合) 農業体験・交流型施設の活用	花摘みの丘、蔵の里などの施設を活用した取り組みの推進	①農業学習やイベントを実施	①農業学習、イベントの開催 ②農のア카데미を活用した農業体験の実施	
		2 多面的機能の発揮	災害協力農地の拡大	災害協力農地の拡大	①JAと市(危機管理室)が協定を締結している。 ②災害用戸について情報提供。	①農業者への情報提供、JAとの連携
(2)多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営	2 援農ボランティアの活用	農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供	「青空塾」修了者と農業者のマッチングを行う。	①体験実習農園にて援農ボランティア活動実施。 ②都「広域援農ボランティア」の周知・広報。 ③都農作業サポーター支援事業との連携(募集協力等)	①マッチングの仕組みづくり検討 ②市報での援農ボランティア広報	
		援農ボランティアのスキルアップ	「青空塾」修了者のスキルアップを図る。	①スキルアップ講習会を、市内農業者の協力を得て、農のア카데미にて実施。 ②スキルアップを目的に講演会や運営連絡会を実施。	①市内農業者の園場にてスキルアップ講座を実施	
		(新) 認定農業者農業経営改善計画への支援	経営改善計画のフォローアップを行う。	—	①認定農業者の要望や関係団体との調整により、目標達成に向け、支援を行う。	
		3 効果的な支援による農業経営意欲の促進	新たな支援策の調査・研究	調査・研究	①補助内容についてJAと意見交換 ②新たな補助制度(「都市農地保全プロジェクト」)の作成 ③計画見直しにおいて、直売への支援策や公共施設での直売検討 ④台風被害への対応	①JAや農業者との意見交換、要望の反映 ②プロジェクト補助金事業手続きを開始
		営農支援事業の適正運営	適正な運営を実施します。	「営農支援事業」をJAが実施している。	引き続き実施	
		農地の適正な肥培管理	農業委員会による管理	①農業委員会と市が協力して、農地パトロールを実施する。 ②農業者への年間を通じたご指導。	①農業委員による指導 ②農地パトロールの実施 ③生産緑地制度の理解促進を通じた意識の向上	
(3)農地の保全と活用	2 多面的機能の発揮	生産緑地地区制度への対応	特定生産緑地や生産緑地の再指定等の推進	①農業者の意見を集約し、「意見」を市に提出する。 ②生産緑地の再指定について、基準改正。 ③都市計画審議会に農業委員会会長が参加。	①特定生産緑地の周知、関係団体、関係部署との連携 ②農業委員による肥培管理調査	
		(新) 農地の賃借における仲介の仕組みづくりの支援	貸借円滑化法に基づく賃借への対応を行う	①制度についての情報提供 ②関係機関との調整	①情報の整理、JAや農業会議等関係機関との連携体制の構築、意見交換 ②農業者の要望、情報の集約	
		(統合) 農業体験・交流型施設の活用	花摘みの丘、蔵の里などの施設を活用した取り組みの推進	①農業学習やイベントを実施	①農業学習、イベントの開催 ②農のア카데미を活用した農業体験の実施	
		災害協力農地の拡大	災害協力農地の拡大	①JAと市(危機管理室)が協定を締結している。 ②災害用戸について情報提供。	①農業者への情報提供、JAとの連携	
		営農支援事業の適正運営	適正な運営を実施します。	「営農支援事業」をJAが実施している。	引き続き実施	
		農地の適正な肥培管理	農業委員会による管理	①農業委員会と市が協力して、農地パトロールを実施する。 ②農業者への年間を通じたご指導。	①農業委員による指導 ②農地パトロールの実施 ③生産緑地制度の理解促進を通じた意識の向上	

施策(大分類)	主要事業(中分類)	No.	個別事業(小分類)	事業内容	令和元(2019)年度の取組	令和2(2020)年度の取組	
(4) 農業を通じた交流	1 各種イベントの実施	19	(統合) 農業景観散策会の実施	農業、農地のある景観を活かした事業の展開	①「花摘みの丘」での景観散策会を実施、花の農地や、農地のある風景を体験	①引き続き、景観散策会を実施する	
		20	市内産農産物活用事業の実施	市内産農産物を活用したイベント実施	①農のアカデミーにおける収穫祭の開催。 ②市内農産物を使用した料理教室(消費者センター)開催支援	①収穫祭の実施 ②市内農産物を使用した料理教室(消費者センター)開催支援	
		21	親子で野菜作りにチャレンジの実施	親子参加型イベントの実施	農のアカデミーにおいて、親子での播種、収穫の体験を通じた都市農業のPRを行う。	農業者の圃場において、親子を対象に農業体験を行い、農業への理解を促進する。	
		22	農業普及啓発プロジェクトの活用	ファームカー、イメージビデオ、イメージソング等の活用	①イベントや市民まつり等を利用した都市農業PRを実施。 ②ファームカーを活用し、直売の支援、イベントや市内巡回による市内農業の広報活動を行う。	①ファームカーを活用し、直売やイベントで、映像やイメージソングを使用した都市農業のPRを実施する ②アスタ大型ビジョンで都市農業PR農業実施	
		23	めぐみやんメモリーの推進	=3		③めぐみやんメモリー事業の映像を活用したPRを実施。	
		24	緑のアカデミー事業の実施	緑のアカデミーを通じた植木農業振興	①中原小(体育館)にて緑のアカデミーイベントを実施 ②東京都農業祭にファームカー参加	①緑のアカデミーイベントを実施し、市内産植木の広報、農業者と市民の交流を図る。 ②東京都農業祭植木部門へのファームカー参加(今年度中止)	
		25	(新) 農業と異分野との連携促進	飲食や福祉・健康・教育と農業の連携推進	①野菜工場の情報提供	①市内連携の推進 ②六次化等の情報提供	
		26	東大生態調和農学機構との連携	東大生態調和農学機構と連携を図る	①農学機構を訪問、[中間見直し]に係る意見交換 ②機構内の野菜工場を見学	①引き続き意見交換や情報交流を行うっていく	
		27	市民農園の新しい展開	利用料の見直し、新たな付加価値地の創出	①利用料の協議を実施、値上げを実施 ②農園にポストを設置し、JA冊子やイベント情報など農業関連情報を提供	①農業者が開設した市民農園への広報等の支援検討 ②農業者が市民農園を開設する際の支援(都市農業支援プロジェクト補助金)	
		28	農業体験農園の推進	開設経費の補助及び広報支援	①市報やHPでの広報や、市民まつりでの広報 ②開設時の支援制度(補助金)の周知	①開設する際の支援制度の周知及び補助金の検討 ②市報等による利用者募集の広報	

※ 令和2年度の取組については、新型コロナウイルス感染症の状況により随時変更する場合があります。